

東洋大学大学院

2027 年 4 月入学

入学試験要項

【大学院先導的留学生スカラシップ入試】

本制度は外国人留学生のみ対象の入試です

- 文学研究科
- 社会学研究科
- 法学研究科
- 経営学研究科
- 経済学研究科
- 国際学研究科
- 国際観光学研究科
- 理工学研究科
- 総合情報学研究科
- 環境イノベーション学研究科（2027 年 4 月開設）
- 生命科学研究科
- 食環境科学研究科
- 情報連携学研究科
- 社会福祉学研究科
- ライフデザイン学研究科
- 健康スポーツ科学研究科

この入学試験要項の日時は、すべて日本時間基準で記載されています。

この「入学試験要項」には、出願から入学手続までのすべての事項を記載していますので、よく読んで手続に間違いのないよう十分に注意してください。

なお、この「入学試験要項」の内容等に変更、訂正が生じた場合および大規模な自然災害等が発生したことにより特別措置を講じる場合は、その内容を本学 web サイトに随時掲載します。

目 次

出願から入学までの流れ	1
目的	2
先導的留学生スカラーの義務・役割	2
研究科・専攻・入学定員等	2-3
入試日程	4
試験内容	4
入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	5-10
出願資格（1）	11
出願資格（2）	12
出願前マッチングについて	13
出願書類	14-16
出願手続	17
入学検定料	18
出願の際の注意事項	18
受験情報の通知	18
試験方法	18
合格発表	19
入学手続	19
合格から入学までの流れ	20
納付金（参考）	21
入学手続後の入学辞退	22
合格者への支援内容	22
先導的留学生スカラーの認定取り消し・支援の中断・失格	22
在留資格の取得について	23-24
外国人留学生のための支援制度	24
アクセスマップ	25
キャンパスマップ	26
問い合わせ先	26

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的として使用します。なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、委託先に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

出願から入学までの流れ

1	出願資格の有無の確認	pp. 11-12
2	専攻の選択	pp. 2-3, 5-10
3	出願前マッチングに申し込む	p. 13
4	メールで本学から受験用パスコードを受け取る (出願前マッチング通過者のみ)	pp. 13, 17
5	出願用メールアドレス、出願書類および入学検定料支払用の クレジットカードを準備	pp. 17-18
6	マイページを作成して、出願登録を行う	pp. 14-17
7	入学検定料の支払い	pp. 17-18
8	マイページで出願書類をアップロード	pp. 14-18
9	マイページで受験番号を確認	pp. 17-18
10	マイページで試験方法を確認	pp. 17-18
11	オンライン面接のための接続テスト	pp. 17-18
12	入学試験：オンライン面接	pp. 17-18
13	マイページで合格発表結果の確認	pp. 19-20
14	入学手続	pp. 19-20, 22
15	在留資格認定証明書の申請	pp. 20, 23-24
16	在留資格認定証明書の発行	pp. 20, 23-24
17	留学ビザを自国あるいは在住国の在外日本公館に申請	pp. 20, 23-24
18	留学ビザを取得	p. 20
19	日本に到着	p. 20
20	採用式と就学手続に出席	p. 20

目的

本入試により募集する大学院先導的留学生スカラシップでは、留学にかかる費用負担を軽減する支援により、国内外（学内からの進学者を含む）の優秀な外国人留学生を受け入れ、本学において研究を行うことを通じて、本学大学院のグローバル化を推進させることを目的とします。また、受入者のうち、優秀な上位若干名を、日本政府（文部科学省）奨学金留学生（研究留学生）に推薦する場合があります。

先導的留学生スカラーの義務・役割

先導的留学生スカラシップ入試に合格し、研究科・専攻へ入学する留学生（以下、「先導的留学生スカラー」という。）は、以下のすべての義務・役割を果たすこと。

- (1) 教育補助員（TA）等の就労を行うこと
- (2) 国際教養・文化、他分野の研究との交流活動を行うこと
- (3) 本人の研究活動および上記(1)(2)の定期的な活動報告を行うこと
※本人の研究活動を含む活動報告内容を評価し、学年進級時の先導的留学生の認定期間の更新可否を判断する。
- (4) 本学からの日本語力強化支援を受けること（主に、授業等すべて英語で行う「英語トラック生」対象）
- (5) 修了後、本学からの依頼に協力すること

研究科・専攻・入学定員等

研究科	専攻	コース	入学定員※1	授業形態 ※2	修学 キャンパス	授業等で使用 する言語※3			
			博士前期・ 修士課程						
文学	哲学		全研究科 合計 10 名	昼	白山	日本語			
	インド哲学仏教学								
	日本文学文化								
	中国哲学								
	英文学								
	史学	日本史学							
		東洋史学							
		西洋史学							
	教育学								
国際文化コミュニケーション									
社会学	社会学	現代社会学		昼		昼夜	日本語・英語		
		社会文化共生学							
		メディアコミュニケーション学							
	社会心理学								
法学	私法学			昼		昼夜		日本語	
	公法学・政治学								
経営学	経営学・マーケティング			夜					
	ビジネス・会計 ファイナンス	会計ファイナンス 専門家養成							

研究科	専攻	コース	入学定員※1	授業形態 ※2	修学 キャンパス	授業等で使用 する言語※3	
			博士前期・ 修士課程				
経済学	経済学		全研究科 合計 10 名	昼夜	白山	日本語	
	公民連携 ※4	標準			オンデマンド等・白山	日本語・英語	
		プロフェッショナル					
国際学	グローバル・イノベーション学				白山	英語	
	国際地域学					日本語・英語	
国際観光学	国際観光学			昼	川越	日本語	
理工学	機械工学※5						
	電気電子情報						
	応用化学						
	都市環境デザイン						
	建築学						
総合情報学	総合情報学				朝霞	日本語・英語	
環境イノベーション学 ※6	環境イノベーション学						
生命科学	生命科学						
	生体医工学						
食環境科学	食環境科学				昼夜	赤羽台	日本語
情報連携学	情報連携学						
社会福祉学	社会福祉学						
ライフ デザイン学	生活支援学	高齢者・障害者支援学					
		子ども支援学					
	人間環境デザイン						
健康スポーツ 科学	健康スポーツ科学						
	栄養科学						

※1 大学院先導的留学生スカラシップ入試の入学定員は、他の入試区分とは別途設定された人数です。

※2 記載されている授業形態は 2026 年 4 月 1 日現在の情報です。変更の場合は本学 Web サイトでお知らせします。

※3 「英語」と書かれている専攻は、日本語を用いず英語のみで修了することが可能です（英語トラック）。

※4 公民連携専攻では、学生のニーズに合わせたコース制および領域を採用しております。標準コース（シティ・マネジメント領域、PPP ビジネス領域、Global PPP 領域）と、プロフェッショナルコースでは標準修業年限に違いがあり、出願の際に選択する必要があります。各コースの詳細については、専攻 Web サイトを確認してください。

<https://www.pppschoo.jp/course/admissions/admissions/>

※5 2027 年 4 月 名称変更

※6 2027 年 4 月 開設

入試日程※1

研究科	専攻	出願前 マッチング 受付期間※2	出願手続期間 ※3	入試実施日	合格発表日	入学手続期間
全研究科	全専攻	2026 年 9 月 1 日(火) ～ 9 月 18 日(金)	2026 年 9 月 28 日(月) ～ 10 月 2 日(金)	2026 年 10 月 5 日(月) ～ 10 月 23 日(金)	2026 年 12 月 2 日(水)	2026 年 12 月 2 日(水) ～ 12 月 8 日(火)

※1 入試日程は、すべて日本時間です。時差等により、試験日時を前倒しすることがあります。

※2 入学後の研究テーマの不一致を防ぐため、大学院先導的留学生スカラシップ入試を受験希望の方全員を対象として、事前に希望指導教員と研究テーマの確認（以下、「出願前マッチング」という。）を行うことを必須としています。出願前マッチングの詳細については p. 13 を参照し、期日までに、所定のフォーム（希望指導教員・研究テーマ確認申請書）に必要事項を入力し、提出書類一式を添付したうえでフォームを送信してください。出願前マッチングに通過した方のみ、その後の出願が可能となります。出願前マッチングを通過した方には、別途受験用パスコードをお知らせします。なお、指導教員の最終決定は入学後に行います。

※3 出願資格の確認については、pp. 11-12 を参照してください。

試験内容

研究科	専攻	試験内容	備考
全研究科	全専攻	書類選考、口述試験（オンライン）	口述試験（オンライン）は、本学指定の Web 会議システムを利用して実施します。詳細は出願後に連絡します。

入学者の受入れに関する方針（アドミSSION・ポリシー）

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミSSION・ポリシー）
文学	哲学専攻 本専攻の目的に即して、理論哲学と実践哲学のどちらを中心にするにしても、両方の統合に努力し、社会における諸問題に関して統合的哲学研究を通して解決する能力を有する人材の養成に努めるべく、それにふさわしい知識、能力、意欲のある人材を受け入れる。 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 問題の中心的な課題を見出すための知識のある者 (2) 解決の選択肢を複数個設定することのできる能力のある者 (3) 上記に必要な持続的な作業を支える意欲のある者
	インド哲学仏教学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 当該分野に関して基本的で広汎な知識のある者 (2) 誠実で自らを律しながら研究に取り組み、研究資料を十分に読解し、その成果を体系的に表現できる能力のある者 (3) 研究対象に主体的に真摯に取り組み、必要に応じて協働で研究するなどの意欲のある者
	日本文学文化専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 日本語・日本文学の基礎知識のある者 (2) 文学の基礎的読解力、外国語・漢文の基礎的能力のある者 (3) 国際的視野に基づく文化の継承と創造への参画に意欲のある者
	中国哲学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 中国哲学・中国文学・中国語に関する基礎的知識のある者 (2) 文献の基本的読解能力をもち、文献を扱う基本的な訓練を経ている者 (3) 中国哲学・文学研究に、専門的に取組もうとする意欲のある者
	英文学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 基本的な英語運用能力と英米文化に関する知識のある者 (2) 自己啓発に熱意をもって取り組む能力のある者 (3) 誠実に自らを律しつつ、研究に取り組む意欲のある者
	史学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 歴史について基本的な知識のある者 (2) 史料の読解能力、総合的な思考力・判断能力があり、学修成果を正確に伝えるコミュニケーション能力のある者 (3) 歴史研究の基礎となる専門的な知識や歴史学的方法を、主体的に学ぶ意欲のある者
	教育学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 教育学や心理学のほか現代的教育問題や関連諸分野についての一般的知識のある者 (2) 文献読解や論文作成、調査など研究に必要な基礎的能力のある者 (3) 教育に対する深い関心と広い視野を持ち、真理の探究と研究を通じた社会貢献に対して意欲を持つ者

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
文学	国際文化コミュニケーション専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 英語をはじめとする外国語の基本的な運用能力を有し、かつ一層の向上を目指す意欲のある者 (2) 多言語多文化に対する基礎的な専門知識を有し、かつ一層の探究心を有する者 (3) 国際社会の中で活躍するための積極的で柔軟な適応能力を有する者
社会学	社会学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 現代社会が直面している諸問題に関する知識のある者 (2) 客観的かつ論理的にものごとを考え、自ら研究テーマを設定し研究を遂行していく能力のある者 (3) 関連分野における専門的知識を身につけ、現代社会の諸問題を解明し、その解決のための施策を探究しようとする意欲のある者 社会心理学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会心理学が、個人と社会に関するどのような現象を研究対象としているのかについての知識のある者 (2) 直観や常識だけに頼らずに、客観的かつ論理的にものごとを考えることのできる能力のある者 (3) 社会心理学のさまざまな研究成果を学び、それに基づいて自らの研究テーマを深く探究しようとする意欲のある者
法学	私法学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 法学の各専門分野についての学問的基礎のある者 (2) 柔軟な発想力、法的問題点の発見力、効率的情報処理能力、合理的解決力を有する者 (3) 私法研究に興味をもって取り組む意欲のある者 公法学・政治学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 法学の各専門分野についての学問的基礎のある者 (2) 柔軟な発想力、法的問題点の発見力、効率的情報処理能力、合理的解決力を有する者 (3) 公法研究に興味をもって取り組む意欲のある者
経営学	経営学・マーケティング専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 経営学及びマーケティングの基礎知識並びに調査・研究に必要な能力を有する者 (2) 専門知識を駆使して問題解決に取り組む意欲があり、さらに自己研鑽を怠らず他人の意見を吸収する柔軟性を持った者 (3) 物事への探求心が旺盛で、グローバルかつ地域コミュニティにおいても貢献する意思のある者 (4) 将来、国内外の学界や企業等の経営体で活躍する研究者、教育者、高度専門職業人を目指す者 ビジネス・会計ファイナンス専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 「会計ファイナンス専門家養成コース」では、公認会計士、税理士、CFO、証券アナリスト等の国家資格取得を目指す意欲及びそのための会計ファイナンスの基礎知識、論理的思考力を有する者や、会計・財務、銀行・証券・保険業務等高度職業会計人としての能力向上を目指す意欲及びそのための会計ファイナンスの基礎知識、論理的思考力を有する者

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
経済学	経済学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、口述試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 経済学に関する基礎的な知識のある者 (2) 論理的に考え、発表・論議する能力のある者 (3) 社会・経済の諸問題に高い関心を持ち、問題発見・解決するための意欲がある者
	公民連携専攻 【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、事前課題、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 一般入試においては、専門分野にかかわらず地域経済社会に対する一定の見解を有している（事前課題に関する口述試験で判断する）とともに、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する） (2) 社会人入試においては、公民連携に関連する分野での経験があるかもしくは今後担当する可能性があり、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する） (3) 海外からの留学生に関しては、自国において、公民連携に関連する分野での経験があるかもしくは今後担当する可能性があり公民連携に関する一定の見解を有している（事前課題に関する口述試験で判断する）又は、本専攻で得る公民連携の知識や人脈を自身のキャリアで生かすプランを有している者（面接で判断する） (4) 公民連携に関する豊富な経験や知識を有し、プロフェッショナルとして活動するための具体的な研究計画を有している者（専攻所定の研究計画書及び面接で判断する）
国際学	グローバル・イノベーション学専攻 【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) イノベーションを通じてグローバル社会に貢献しようとする起業家精神をもち、そのための実践的知識、英語を駆使した専門的能力、およびリーダーシップの獲得を目指す者 (2) 将来、国内外の学界や企業及び NGO・NPO などの組織で活躍する、研究者、教育者、高度専門職業人を目指す者 (3) 現代社会におけるグローバルな課題に関する理解と課題解決のための基礎的な調査研究能力を有し、今後積極的に自己研鑽を怠らず積極的に取り組もうとする者 (4) 積極的に国際的に発信するために必要な学問的基盤を有し、また、その知識を実践活動に転換するための分析能力・遂行能力を有する者 (5) 日本人学生と外国人留学生が共存する環境のなかで、同じ目的を持って学ぶことができる、多様性への寛容な精神、及び協調的なコミュニケーション能力を有する者
	国際地域学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 国内外の地域の現状と課題に対する知識のある者 (2) 地域の現状と課題を理解し分析できる能力のある者 (3) 国内外の地域の課題の理解と解決、およびそのための調査研究に自らが積極的に取り組む意欲のある者
国際観光学	国際観光学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学希望者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 国内外の観光学分野における課題に取り組み、改善・解決策を提案するための基礎知識を有する者 (2) 観光の現場で求められるニーズに対応するため、英語をはじめとした語学の知識を有する者 (3) 観光分野とくにホスピタリティ産業を牽引する経営幹部を目指し、グローバル化による多文化共生社会において文化や経営の哲学を含めて観光実務に携わる能力のある者 (4) 国内外における地域づくりや国際観光の発展にかかわる諸問題の解決及び調査研究に自らが意欲的に取り組む意思のある者

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）		
理工学	理工学研究科では、本学の建学の精神である「諸学の基礎は哲学にあり」を重視するとともに、理学に基づいた基礎的な自然科学の法則や考え方を理解し、それを科学・技術の分野に応用することにより、環境と調和のとれた高度な専門能力・創造力・人間性豊かな倫理観を備えた人材を養成する。博士前期課程においては高度な専門的職業人材および教育者の養成、博士後期課程においては研究者の養成に重点をおく。 理工学研究科が望む学生像 理工学研究科では、設立の趣旨、教育理念・目標に基づき、次のような人材を求める。 ・理工学研究科が掲げる理念と目的に共感し、これを遂行するための基本的能力と意欲をもつ人 ・自然科学分野における基礎的な教養を身につけており、かつ特定の専門分野において十分な基礎学力を備えている人。また、それらをもとに論理的に思考する姿勢と能力をもっている人 ・創造的に新しい世界を開拓しようとする意欲と実行力に満ちた人 ・研究活動に必要な英語力、コミュニケーション能力を身につけている人 ・積極的に研究課題に取り組む意欲と探究心に溢れている人		
		専攻名	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
	博士前期課程	機械工学	材料力学・熱力学・流体力学・機械力学・制御工学・計測工学を基礎とする機械工学の基礎的学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者
		電気電子情報	エネルギー・制御、エレクトロニクス、情報通信などの専門分野における基礎的な学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者
		応用化学	化学と専門英語の基礎学力を十分に持ち合わせ、勉学および研究に情熱と意欲を有する者
		都市環境デザイン	土木工学・環境学などの専門領域における基礎的な学力を有し、問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者
		建築学	建築学・都市工学・環境学の専門領域における基礎的な学力を有し、先端の知識と技術、建築設計手法、マネジメント手法を体系的に修得することに強い意欲を有する者
総合情報学	総合情報学専攻 入学希望者の志願分野に応じて、総合情報学における3つの分野（システム情報、メディア情報、心理・スポーツ情報）別に適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、面接、口頭試問、プレゼンテーション、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 【博士前期課程】 (1) 専門知識を実際の問題に適用する過程を通じて人間的に成長するとともに、以って総合情報学の確立に貢献する意欲のある者 (2) 自らの研究分野を説明できる日本語または英語のコミュニケーション能力及び情報処理技術を応用する能力のある者 (3) 総合情報学に関わる専門分野の知識のある者		
環境イノベーション学	環境イノベーション学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) グリーン・デジタル社会を実現する環境創造力と、その社会実装の実現に資する科学コミュニケーション能力により課題を解決する意欲を有する者。 (2) 地域から地球規模の多様な環境問題の解決に向けて、幅広い学問分野に対する関心を持ち、あるべき社会のビジョンについて考える意欲を有する者。 (3) 設定したビジョンに対する課題や解決策を考え、実現に向けて取り組む意欲を有する者。 (4) 設定したビジョンや提案した解決策について、研究者、企業、行政、地域住民等と対話・調整する意欲を有する者。 (5) 大学院での修学に必要な基礎学力を有する者。		

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
生命科学	【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 生命科学や生体医工学の高度な知識を習得するための基礎知識のある者 (2) 生命倫理を尊重し、専攻分野における高度な研究能力を習得する意欲のある者 (3) 生命科学分野や生体医工学分野を探究するための基礎的な問題設定・解決能力を身につけている者 生命科学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 生命現象とその応用を理解するために必要な高度な知識を修得するための基礎知識のある者 (2) 生命科学を探究する目的意識をもち、自ら問題点を見出し解決する能力のある者 (3) 生命倫理を尊重し専攻分野における高度な研究能力を修得するという強い意欲のある者 生体医工学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 数学、生物学、物理学または化学の基礎的学力を有する者 (2) 生命医科学分野や医工学分野において必要となる論理的思考能力を有する者 (3) 生命医科学分野や医工学分野における問題設定・解決能力を修得することに強い意欲を有する者
食環境科学	食環境科学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 1. 生命科学的視点に立って、食品機能科学の基礎的知識・技術を有する者 2. 「食」、「栄養」、「健康」の関わりに関心を持ち、国民が全体として生涯にわたり健康的で明るく、活力ある生活が送れるよう、地球社会の発展に貢献するという強い意志を有しており、下記のいずれかの意欲のある者 (1) 生命と健康、食の安全・安心に関わる専門技術や実践力、総合力を駆使し、高度職業専門人としてグローバル社会に貢献する意欲がある者 (2) 健康科学、運動生理学を総合的に身に付け、専門性を活かし社会的課題に対して積極的に問題解決していく意欲がある者 (3) 専門知識を活かしてチーム医療や栄養行政で、健康寿命延伸に貢献する意欲がある者 3. 食環境科学の知識を用い、社会貢献をする意欲がある者 4. 食環境を取り巻く社会的諸課題について、学士課程相当の基礎的な知識を用いて、自らの研究課題を設定する能力がある者 5. 自らの研究課題についての的確に発表し、自身の言動に責任を持って議論に臨む意欲がある者
情報連携学	情報連携学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 情報通信技術を中心として、さまざまな分野間の連携を具体化して社会を変えていくことに強い興味と高い意欲をもつ者 (2) 社会の多様性を尊重、理解し、多様な人びとと協働する中で、自分の独自性を発揮できる者 (3) 情報連携学分野の新たな開拓に向けて積極的に取り組む意欲のある者 (4) 情報連携学を発展させるために必要な基礎及び専門知識のある者
社会福祉学	社会福祉学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 社会福祉を研究するのに必要な基礎的知識を有する者 (2) 他者と討議をし、自らの思考力と判断力を高めていける能力のある者 (3) それぞれの関心を研究テーマに高める過程で、日常的思考から研究的思考に脱皮する意欲のある者

研究科	専攻別 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）
ライフ デザイン学	生活支援学専攻 【修士課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 子どもや高齢者、障害者を取り巻く諸問題に対して、その状況等を総合的に把握し、専門的観点から問題解決の方法等を見いだす知識のある者 (2) 社会人として、保育、教育、福祉、医療、介護等の現場に勤務しており、関連領域に関する知識や技術を探求し、職場への還元と自身のキャリアアップを目指す能力のある者 (3) 学部で習得した知識を活かし、対人支援や相談援助に関するより高度な専門的知見や技術を習得したいという意欲のある者 (4) 保育、教育、福祉、医療、介護の各分野において、国際社会で活躍する意欲があり、それに係る研究に積極的に携わろうとする者
	人間環境デザイン専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 「人間環境デザイン学」の学問的な目的や価値に共感し、関連する学士相当の知識や技能のある者 (2) デザイン分野における専門性と総合性を高める実践的な学修に意欲のある者 (3) 研究倫理を遵守し、国際的かつ学際的な学修に対して意欲のある者
健康スポーツ 科学	健康スポーツ科学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 健康スポーツ科学に関する基本的な知識（人文科学・社会科学・自然科学の知識）がある者 (2) 人々の生活の質（QOL）の創造に貢献し、それに関わる課題を積極的に解決しようとする意欲がある者 (3) 国際社会において健康スポーツに関わる指導者として活躍する意欲があり、それに関わる研究に積極的に携わろうとする意欲がある者 (4) セカンドキャリアの形成に意欲があるアスリート (5) 教職の専修免許状の取得に意欲がある者
	栄養科学専攻 【博士前期課程】 入学希望者の特性に応じた適切な方法で多様な入学者選抜試験を実施し、筆記試験、面接、書類選考等を通じて、以下の資質や能力を示した者を受け入れる。 (1) 健康寿命延伸に関わる社会的諸課題について、学士課程修了相当の基礎的な知識を用いて、自らの研究課題を設定する能力がある者 (2) 栄養科学に関する基礎的な知識とその学びに対する強い意欲がある者 (3) 栄養科学の実践者として広く国際社会で活躍すること、及びその研究に強い意欲がある者 (4) セカンドキャリアの形成に意欲のあるアスリート、栄養士・管理栄養士等の社会人

出願資格（1）

＜留意事項＞

- ★ 本制度は博士前期・修士課程のみを対象とした入試です。
- ★ 出願資格において「見込み」で受験し、合格した者がその出願資格を入学前日までに満たせない場合は、入学許可は取り消しとなります（「見込み」のままで入学することはできません）。

博士前期課程または修士課程に出願することのできる者は、本学（志望専攻・コース）を第一志望として入学を志す者で、次の(1)～(5)のすべてに該当し、更に(7)～(14)のいずれかに該当する者です。

ただし公民連携専攻志願者は、必ず(6)にも該当すること。

- (1) 日本国以外の国籍を有する者
- (2) 最終出身大学（見込み含む）における学部段階の成績が本学で定める学業成績係数で2.5以上である者
（→基準はp.12「出願資格（2）」を確認してください）
- (3) 本学で定める語学力（日本語または英語）の基準を満たす者（→基準はp.12「出願資格（2）」を確認してください）
- (4) 入学までに、日本国の在留資格「留学」を取得予定の者
- (5) 所定の期日までに出願前マッチングを行い、通過した者
- (6) 公民連携専攻志願者は、入学時において、企業または官公庁等に通算1年以上在職した経験を有する者
- (7) 学校教育法第83条に規定する大学を卒業した者および2027年3月31日までに卒業見込の者
- (8) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者および2027年3月31日までに授与される見込の者
- (9) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込の者
- (10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込の者
- (11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものに限る）を有する者として当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2027年3月31日までに修了見込の者
- (12) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了することおよび当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者および2027年3月31日までに授与される見込みの者
- (13) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者および2027年3月31日までに修了見込の者
- (14) 文部科学大臣の指定した者

出願資格（2）

p.11「出願資格（1）」の要件（2）および（3）について、以下のとおりです。これらの要件も含め、p.11「出願資格（1）」に記載されたすべての条件を満たしている必要があります。

■最終出身大学（見込み含む）における学部段階の成績が本学で定める学業成績係数で2.5以上である者

①算出対象となる学業成績

学業成績は正規課程の成績のみを用い、研究生等（非正規課程や日本語教育機関等）の成績を含めず、最終出身大学（見込み含む）における学部段階の学業成績係数を算出すること。

なお、複数の大学等の成績により算出する場合には、下記「②算出手順」に基づき、算出基準を合わせることに。

②算出手順

下表により「評価ポイント」を算出し、計算式に当てはめて計算すること。

区分	成 績 評 価				
4段階評価		優	良	可	不可
4段階評価		A	B	C	F
4段階評価		100～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価	S	A	B	C	F
5段階評価	A	B	C	D	F
5段階評価	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{（「評価ポイント3の単位数」×3）+（「評価ポイント2の単位数」×2）+（「評価ポイント1の単位数」×1）+（「評価ポイント0の単位数」×0）}{\text{総登録単位数}}$$

- ※1 履修した授業について単位制をとらない場合は、単位数を科目数に置き換えて算出すること。
- ※2 編入学している場合は、編入学後の単位数を対象とすること。ただし、直近4年間に含まれる編入学前の成績評価（現大学の直前に在学していた学校における成績）が編入学後の単位に反映されていない場合は、編入学前の成績評価をもとにして算出すること。
- ※3 上表の成績評価にない評価（例えば、「認定」、「合格」など）は対象としないこと。
- ※4 学業成績係数に端数が出る場合は、小数点第3位以下を切り捨てること。
- ※5 上表の区分にない評価段階（例えば、「8段階」、「10段階」など）については、当該学生の成績表を発行した大学および現地政府等の公的機関において公式な換算表（100点換算表など）があれば当換算表を用いて学業成績係数を算出すること。

■本学で定める語学力（日本語または英語）の基準を満たす者

①日本語トラック生

日本語能力試験（日本国際教育支援協会または国際交流基金（共催の協力機関）が実施しているものに限る）がN1または旧1級に合格している者

②英語トラック生（英語トラックを実施する研究科・専攻が対象）

以下の英語能力基準のいずれかを満たす者

- ・TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition含む）旧スコアにて95点以上（2026年1月20日以前受験者）または、バンドスコア総合5点以上（2026年1月21日以降受験者）
※TOEFL-ITP（団体向けプログラム）のスコアは使用できません。
- ・IELTS アカデミック・モジュール Overall 7.0以上
※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません。
- ・TOEIC Listening & Reading Test 945点以上 および Speaking & Writing Test 360点以上
※TOEIC L&R-IP（団体向けプログラム）のスコアは使用できません。

※他の試験は使用できません。

※英語能力試験のスコアは、試験日が2025年4月1日以降のものに限ります。

※日本語トラックおよび英語トラックの詳細は、pp.2-3「研究科・専攻・入学定員等」の「授業等で使用する言語」の項目を参照してください。

※母語が日本語または英語である者であっても、上記の語学能力試験のいずれかを受験し、語学能力基準を満たしていることを証明する必要があります。いかなる場合も、語学能力証明書の提出が必要です。

出願前マッチングについて

1. 出願前マッチングの目的

東洋大学大学院では、入学後の研究テーマの不一致を防ぐため、大学院先導的留学生スカラシップ入試を受験希望の方全員を対象として、事前に出願前マッチング（希望指導教員および研究テーマの確認）を行うことを必須としています。期日までに、所定のフォーム「希望指導教員・研究テーマ確認申請書」に必要な事項を入力し、提出書類一式を添付したうえでフォームを送信してください。期日までに上記を行い、出願前マッチングに通過した方のみ、入学試験に出願が可能となります（出願前マッチングを通過した方には、別途受験用パスコードをお知らせします）。なお、指導教員の最終決定は入学後に行います。

2. 受付期間

日本時間：2026年9月1日（火）～2026年9月18日（金）

※期間外の受付は行いません。

3. 提出書類・提出方法

●提出書類

- 提出書類の詳細は pp. 14-16 「出願書類」の項目を参照してください。
- 提出書類の使用言語は、授業で使用する言語（日本語または英語）に基づいてください。授業で使用する言語は、希望する研究科・専攻によって異なります。詳細は pp. 2-3 「研究科・専攻・入学定員等」を参照してください。
- 希望する研究科・専攻の授業で使用する言語が日本語の場合は、No. 1～5 を日本語で作成し、No. 6 語学能力証明書は日本語能力証明書を提出してください。
- 希望する研究科・専攻の授業で使用する言語が英語の場合は、No. 1～5 を英語で作成し、No. 6 語学能力証明書は英語能力証明書を提出してください。
- No. 1～5 の提出は必須、No. 6 語学能力証明書の提出は任意（現時点で取得している方のみ）となります。
- 「希望指導教員・研究テーマ確認申請書」のフォームに添付する際は、PDF（デジタル発行されたもの、または原本をスキャンしたもの）で受付します。

●提出方法

- 「希望指導教員・研究テーマ確認申請書」のフォーム（<https://forms.gle/1dDF8noRygg2vrr78>）に必要な事項を入力し、提出書類一式を添付したうえでフォームを送信してください。
- 本学所定用紙は、本学大学院入試情報サイト（https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/other_admissions/）からダウンロードして、書類を作成のうえご提出ください。提出書類の作成には時間がかかりますので、お早めにご確認ください。

No.	必須／任意	希望指導教員・研究テーマ確認書類		書式	備考
1	必須	履歴調書		本学所定用紙	—
2	必須	パーソナルステートメント（自己評価書）・志望動機		本学所定用紙	—
3	必須	学部卒業論文（全文）および要約（日本語または英語）		・A4 サイズ ・要約の分量は次のとおり 【英語】1,500 単語程度 【日本語】4,000 字程度	—
4	必須	研究計画書		本学所定用紙	—
5	必須	最終出身大学学部の成績証明書（最新の内容が記載されたもの）		PDF（デジタル発行されたもの、または原本をスキャンしたもの）	合格後、大学への原本の提出が必要
6	任意	語学能力証明書（①または②のいずれか）	①日本語能力証明書（日本語能力試験 N1 または旧 1 級に合格） ②英語能力証明書（TOEFL iBT 旧スコア 95 点以上またはバンドスコア総合 5 点以上、IELTS アカデミック・モジュール Overall 7.0 以上または TOEIC L&R 945 点以上および S&W 360 点以上のいずれか）	PDF（デジタル発行されたもの、または原本をスキャンしたもの）	※語学能力証明書は、出願前マッチングの申請時には任意提出ですが、出願時には提出が必須となります。

出願前マッチングで提出された書類、証明書は返却しませんので、ご注意ください。

出願書類

出願方法にあたっては、「インターネット出願ページでの志願者情報の入力」、「マイページでの出願書類のアップロード」、「入学検定料の振込」の手続きが必要となります。

※本学所定用紙は、本学大学院入試情報サイト (https://www.toyo.ac.jp/academics/gadmissions/other_admissions/) からダウンロードして作成してください。

※提出書類の使用言語および語学能力証明書は、授業で使用する言語（日本語または英語）に基づいてください。授業で使用する言語は、希望する研究科・専攻によって異なります。詳細は pp.2-3「研究科・専攻・入学定員等」を参照してください。

- (1) 希望する研究科・専攻の授業で使用する言語が日本語の場合は、No.1～5 を日本語で作成し、No.8 語学能力証明書は日本語能力証明書を提出してください。
- (2) 希望する研究科・専攻の授業で使用する言語が英語の場合は、No.1～5 を英語で作成し、No.8 語学能力証明書は英語能力証明書を提出してください。
- (3) (1)、(2)以外の書類は、日本語または英語で記載された書類とし、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず公的機関、語学学校、卒業出身校等で証明する日本語または英語で翻訳されたものを添付してください。

□提出書類

※下表に●印が記載されている書類は、アップロード、作成者によるメール送付、または入学時の提出が必要です。

No.	アップロード	作成者によるメール送付	入学時の提出	出願書類	書式
1	●	—	—	出願申請書	本学所定用紙
2	●	—	—	履歴調書	本学所定用紙
3	●	—	—	パーソナルステートメント（自己評価書）・志望動機	本学所定用紙
4	●	—	—	学部卒業論文（全文）および要約（日本語または英語）	・A4 サイズ ・要約の分量は次のとおり 【日本語】4,000 字程度 【英語】1,500 単語程度
5	●	—	—	研究計画書	本学所定用紙
6	●	—	● (原本)	最終出身大学学部の卒業（見込）証明書、および大学院を修了（見込）している場合は最終出身大学院の修了（見込）証明書（取得学位が明記されている証明書）	【アップロード】PDF（デジタル発行されたもの、または原本をスキャンしたもの） 【入学時の提出】原本
7	●	—	● (原本)	最終出身大学学部の成績証明書（最新の内容が記載されたもの）	【アップロード】PDF（デジタル発行されたもの、または原本をスキャンしたもの） 【入学時の提出】原本
8	●	—	—	語学能力証明書 (①または②のいずれか)	PDF（デジタル発行されたもの、または原本をスキャンしたもの）
				①日本語能力証明書 (日本語能力試験 N1 または旧 1 級に合格) ②英語能力証明書 (TOEFL iBT 旧スコア 95 点以上またはバンドスコア総合 5 点以上、IELTS アカデミック・モジュール Overall 7.0 以上または TOEIC L&R 945 点以上および S&W 360 点以上のいずれか)	
9	—	●	—	推薦書 2 通	本学所定用紙または任意書式 【作成者によるメール送付】PDF（自筆でデジタル署名されたもの、または自筆で署名された原本をスキャンしたもの）
10	●	—	—	パスポートのコピー（氏名、顔写真のページ）	—
11	●	—	—	顔写真（縦 4cm×横 3cm）	—
12	●	—	—	その他（奨学金等の受給証明書等）	—

- ・出願書類（No.9 推薦書を除く）については、マイページからのアップロードが必要です。
- ・マイページには、PDF ファイルをアップロードしてください。合格後、大学への提出が必要な書類等（書類 No.6～7）がありますので、出願書類は大切に保管してください。
- ・No.9 推薦書は作成者が直接大学にメールで提出してください。宛先等の詳細は p.16 を参照してください。

- ・各種証明書は、申請してから受領するまで時間を要する場合があります。十分な時間の余裕をもって準備してください。
- ・記載事項に虚偽等が発覚した場合は、受験できません。合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、合格を取り消します。
- ・出願前マッチングに通過した研究科・専攻・コースのみ出願を認めます。
- ・出願書類に不備がある場合には受理しませんので、十分留意してください。

1. 出願申請書

本学所定用紙

2. 履歴調書

本学所定用紙

3. パーソナルステートメント（自己評価書）・志望動機

本学所定用紙（2枚以内にまとめること）

4. 学部卒業論文（全文）および卒業論文の要約（日本語または英語）

- ・学部卒業論文の全文は、当該論文執筆時の言語のままでかまいません。
- ・学部卒業論文の要約は、Wordを使用し、日本語または英語で作成したもの1部を提出してください。書式はA4サイズ（日本語4,000字程度または英語1,500単語程度）で作成してください。
- ・学部卒業論文が無い者は、これに代わるものとして、日本語または英語で作成した「これまでの研究に関する小論文」を作成し、1部提出してください。書式はA4サイズ（日本語8,000字程度または英語3,000単語程度）で作成してください。
- ・「これまでの研究に関する小論文」を作成する際には、問題設定、先行研究、分析枠組み、仮説、検証、考察、結論といった内容を盛り込んでください。

5. 研究計画書

本学所定用紙（2枚以内にまとめること）

6. 最終出身大学学部の卒業（見込）証明書、および大学院を修了（見込）している場合は最終出身大学院の修了（見込）証明書（取得学位が明記されている証明書）

- ・証明書に取得学位が明記されていない場合は、「取得学位が明記されている証明書」を併せて提出してください。
- ・証明書は日本語または英語で記載された書類とし、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず公的機関、語学学校、卒業出身校等が証明する日本語または英語で翻訳されたものを添付してください。
- ・提出された証明書の発行大学・大学院に証明内容の照会をする場合があります。

7. 最終出身大学学部の成績証明書（最新の内容が記載されたもの）

- ・大学院修了者も、出願にあたっては学部（学士課程）の成績証明書を提出してください。
- ・証明書は日本語または英語で記載された書類とし、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず公的機関、語学学校、卒業出身校等が証明する日本語または英語で翻訳されたものを添付してください。
- ・提出された証明書の発行大学に証明内容の照会をする場合があります。

8. 語学能力証明書（日本語能力証明書または英語能力証明書のいずれか）

①日本語能力証明書（日本語能力試験N1または旧1級に合格）

日本国際教育支援協会または国際交流基金（共催の海外の協力機関）が実施しているもの。

②英語能力証明書（TOEFL、IELTSまたはTOEICのいずれか）

次のうち1つの公式なスコアを証明する書類を提出してください。

- 1) TOEFL インターネット版テスト（iBT ※Home Edition含む）旧スコアにて95点以上（2026年1月20日以前受験者）または、バンドスコア総合5点以上（2026年1月21日以降受験者）
※TOEFL-ITP（団体向けプログラム）のスコアは使用できません。
- 2) IELTS アカデミック・モジュール Overall 7.0以上
※ジェネラル・トレーニング・モジュールのスコアは使用できません。
- 3) TOEIC Listening & Reading Test 945点以上 および Speaking & Writing Test 360点以上
※TOEIC L&R-IP（団体向けプログラム）のスコアは使用できません。

※他の試験は使用できません。

※英語能力試験のスコアは、試験日が2025年4月1日以降のものに限ります。

※母語が日本語または英語である者であっても、上記の語学能力試験のいずれかを受験し、語学能力基準を満たしていることを証明する必要があります。いかなる場合も、語学能力証明書の提出が必要です。

9. 推薦書 2 通

本学所定用紙または本学所定用紙の内容が網羅された任意の書式で提出してください。

以下のとおり、日本語または英語で書かれた推薦書 2 通を提出してください。日本語または英語以外の言語で書かれている場合は、必ず公的機関、語学学校、卒業出身校等で証明する日本語または英語で翻訳されたものを添付してください。

- ・別々の推薦者から 1 通ずつ、計 2 通の推薦書を提出してください。
- ・推薦者は、最終出身大学または大学院（見込み含む）の指導教員、担任または授業を受け持つ教員とします。
- ・推薦書は、志願者が大学または大学院にいた間にどのように研究に取り組んできたか、特記すべき長所や短所、研究成果を含めて、推薦者が記入してください。
- ・推薦書は、推薦者が期日までに、大学指定の宛先へメールで直接提出してください。メールの件名は「先導的留学生スカラシップ推薦書」とし、メール本文には必ず志願者の氏名を記載してください。提出先は希望する研究科・専攻の修学キャンパスごとに異なります。修学キャンパスは pp. 2-3 を参照してください。

【宛先のメールアドレス】

白山：mltop-ss@toyo.jp

川越：mlkdaigakuin@toyo.jp

赤羽台（情報連携学研究所）：ml-iniad-em@toyo.jp

赤羽台（社会福祉学研究所・ライフデザイン学研究所・健康スポーツ科学研究科）：mlags@toyo.jp

朝霞：mllfinkyomu@toyo.jp

10. パスポートのコピー（氏名、顔写真のページ）（パスポートを持っている場合）

氏名、顔写真、生年月日、パスポート番号、有効期限等が記載されているページのコピー

11. 顔写真

出願時点から 3 ヶ月以内に撮影したもので、縦 4cm×横 3cm の上半身（肩から上）・脱帽・正面・背景の無い光沢カラー写真（服装自由）。絹目仕上げ（つや消し）、白黒写真、スナップ写真は不可。面接時に眼鏡を着用する者は、眼鏡を着用して撮影したもの。

入学後、学生証用として大学院修了まで使用します。

12. その他

奨学金等の受給証明書等があれば提出してください。

■健康状況について

疾病・障がい等のために、大学院教育の履修や学生生活においてサポートが必要な場合は、出願手続前に大学院先導的留学生スカラシップ入試問い合わせフォーム（<https://forms.gle/M6kWMaigHKzwmSCw8>）からご相談ください。

出願で提出された書類、証明書は返却しませんので、ご注意ください。

出願手続

出願するためには、インターネット環境が必要です。本学入試情報サイトからインターネット出願ページにアクセスし、マイページを作成して出願登録手続を行ってください。

※インターネット出願ページにアクセスするには、受験用パスコードが必要です。このパスコードは、所定の期日までに出願前マッチングを行い、通過した方にのみメールで通知します。

必ず「東洋大学大学院 2027年4月入学 入学試験要項 【大学院先導的留学生スカラシップ入試】（本要項）」を熟読したうえで出願してください。

出願書類（pp. 14-16「出願書類」参照）は発行に時間がかかるものもありますので、早めに準備してください。

STEP 1 メールで本学から受験用パスコードを受信する

所定の期日までに出願前マッチングを行い、通過した方にのみ、本学よりメールで出願登録に必要な受験用パスコードを送信します。

STEP 2 出願用メールアドレス、出願書類および入学検定料支払用のクレジットカードを用意する

出願登録には、メールアドレスが必要です。また、p. 18の入学検定料支払いに使用可能なクレジットカードを用意してください。

STEP 3 インターネット出願ページにアクセスし、マイページを作成して出願登録を行う

志望研究科、専攻を選択し、出願のための個人情報の登録を行ってください。

出願前マッチングに通過した研究科・専攻・コース以外に出願した場合は、無効となります。

STEP 4 出願登録後、入学検定料の支払いを行う

支払方法は、クレジットカード決済のみとなります。金融機関からの送金（外国送金）による納入はできません。出願登録後に支払情報を登録し、入学検定料の支払いを行ってください。

STEP 5 マイページから出願書類のアップロードを行う

pp. 14-16の「出願書類」を参照し、出願書類のアップロードを行ってください。

STEP 6 マイページで、受験番号等の受験情報を確認する

STEP5の完了後、出願書類の確認を行います。不備がなければ、受験番号を通知します。

STEP 7 マイページで、試験実施内容を確認する

STEP6の受験番号通知後、試験実施内容を通知しますので、マイページで確認してください。

試験実施前に接続テストを行います。接続テスト方法（日時等）について試験実施内容とともに通知しますので、必ず確認してください。

出願完了

入学検定料

入学検定料：35,000円

- (1) p.4の「入試日程」で出願期間を確認し、その期間内にインターネット出願登録を行い、入学検定料を支払ってください。入学検定料については、本制度の支援対象外となります。出願期間内にインターネット出願登録および入学検定料の支払いがない場合は受験できません。
- (2) **入学検定料の支払方法はクレジットカード決済のみとなります**（志願者以外の名義可）。
インターネット出願登録完了後、画面の指示に従い、支払手続を行ってください。使用できるクレジットカードは、VISA/MasterCard/AMERICAN EXPRESS/DINERS CLUB/JCBになります。
※金融機関からの送金はできません。
※出願手続は出願期間最終日の日本時間23:00まで行うことができます。
※一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還しません。

出願の際の注意事項

- (1) すべての出願書類のアップロードがない場合は、受験できません。
- (2) 出願期間は日本時間基準です。
- (3) 証明書等は、マイページでアップロードを行ってください。
- (4) 証明書は、日本語または英語で書かれた書類とし、日本語または英語以外の言語で記載されている場合は、必ず公的機関、語学学校、卒業出身校等で証明する日本語または英語で翻訳されたものを添付してください。
- (5) 本学所定用紙は、インターネット出願ページからダウンロードしてください。
- (6) 出願書類に不備があるものは、一切受け付けません。
- (7) 提出した出願書類および入学検定料は、返還しません。

受験情報の通知

- (1) インターネット出願ページでの登録、マイページで出願書類のアップロード後、出願書類の確認を行います。不備がなければ、受験番号をマイページで通知します。
- (2) 受験番号の通知後、試験の時間等、実施方法について別途通知します。

※書類審査の結果、出願資格のないことが判明した場合には受験できません。
その場合は、出願時に登録されたメールアドレス宛に、その旨をメールで通知します。

試験方法

- (1) 本学指定のWeb会議システムを用いたオンライン面接を行います。
- (2) 受験番号の通知後、事前に接続テストを行います。
- (3) 次の行為は不正行為となることがあります。不正行為になった場合、それ以降の受験はできません。その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。
また、当該年度におけるすべての入学試験の結果を無効とします。
①志願者以外の者が志願者になりすまして受験すること。
②その他、試験の公平性を損なう行為をすること。
※不正行為が認められた場合、警察へ被害届を提出する等の対応をとる場合があります。

合格発表

- (1) 合格発表は可否にかかわらず、マイページで全員に通知します。
- (2) 電話やメール等による問い合わせには、一切応じません。
- (3) 可否通知の郵送は行いません。
- (4) 合格発表の公開開始時間は、合格発表日の11:00（日本時間）を予定しています。

入学手続

マイページには、合格発表および合格者への入学手続について説明しています。その説明に従い、合格者は指定した入学手続締切日までに、本学入試情報サイトからオンライン入学手続サイトにアクセスし、入学手続（オンライン登録）を行ってください。

※入学手続締切日までに入学手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものと判断し、入学は認められません。なお、締切後の入学手続は一切受け付けません。

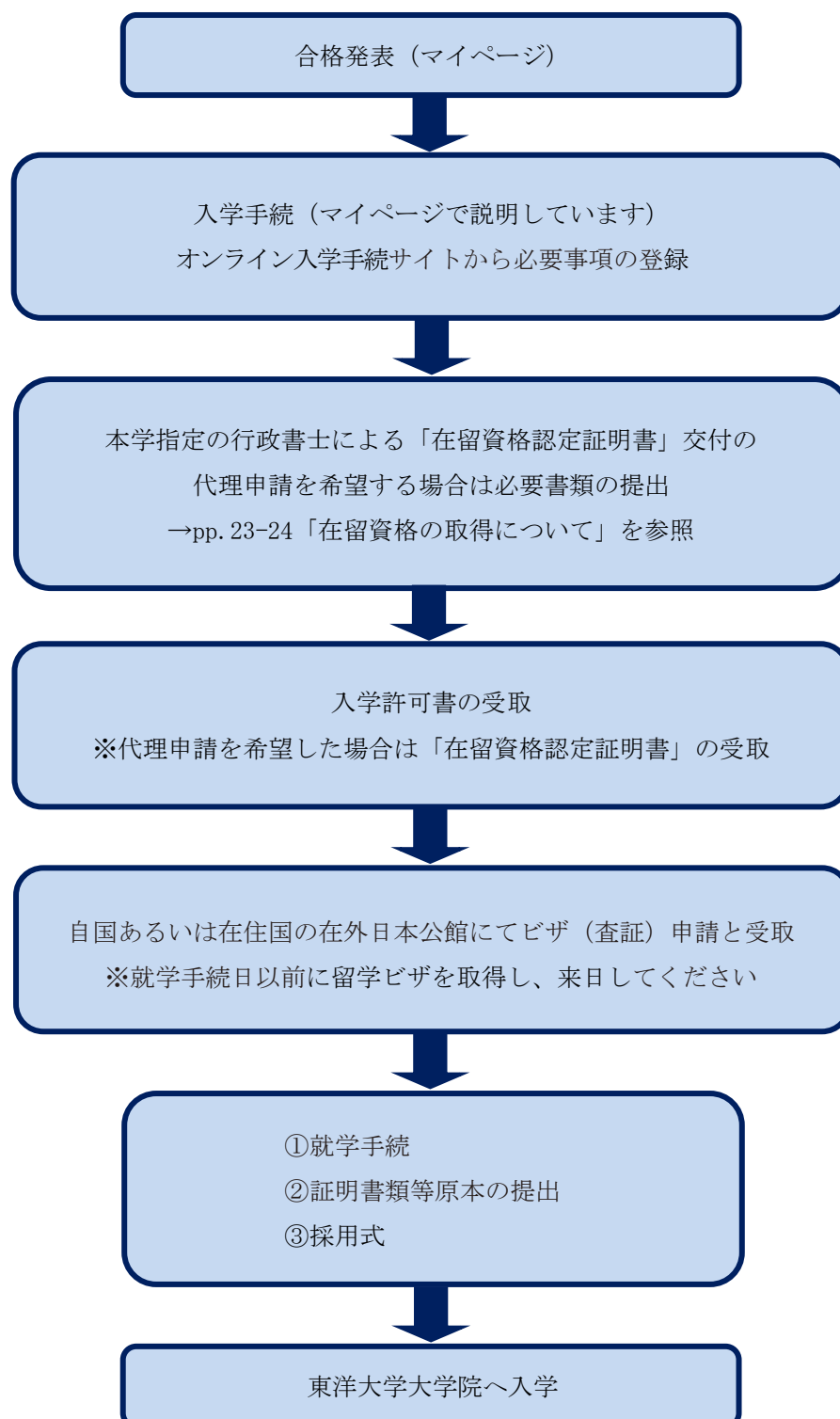
※合格発表後、入学手続が完了した方で希望する場合は、本学指定の行政書士が「在留資格認定証明書」交付の代理申請を行うことができます（pp. 23-24「在留資格の取得について」参照）。

代理申請には「経費支弁能力証明書」等が必要です。準備に時間を要するため、あらかじめ準備をしてください。

※詳細は、合格発表後にお知らせする「入学手続のしおり」をご覧ください。

合格から入学までの流れ

合格者は所定の期間内に入学手続書類を提出する必要があります。詳細は、合格発表後にお知らせする「入学手続のしおり」をご覧ください。なお、締切日を過ぎての手続は一切受け付けられませんので、ご注意ください。



納付金（参考）

本入試により合格した者は、本学の支援により納付金が全額免除となるため、入学時および入学後に納付金を納入する必要はありません。ただし、奨学金の受給資格を喪失した場合は、納付金の納入義務が生じます。

（2027 年度予定）

（単位：円）

研究科・専攻	課程	学費				計
		入学金 （入学申込金） ※1	授業料	一般施設 設備資金	実験 実習料	
文学研究科 社会学研究科 法学研究科 経営学研究科 （ビジネス・会計ファイナンス専攻 中小企業診断士登録養成コース除く） 経済学研究科（経済学専攻） 国際学研究科 国際観光学研究科 社会福祉学研究科 ライフデザイン学研究科 （人間環境デザイン専攻除く）	博士前期 （修士）	270,000	450,000	90,000	—	810,000
経済学研究科 公民連携専攻	標準コース	270,000	600,000	90,000	—	960,000
	プロフェッショナル コース	270,000	990,000	90,000	—	1,350,000
理工学研究科 総合情報学研究科 （一般コース・公認心理師コース） 環境イノベーション学研究科 生命科学研究科 食環境科学研究科 健康スポーツ科学研究科 （栄養科学専攻）	博士前期	270,000	550,000	130,000	120,000	1,070,000
情報連携学研究科	博士前期	270,000	550,000	250,000	—	1,070,000
ライフデザイン学研究科 （人間環境デザイン専攻） 健康スポーツ科学研究科 （健康スポーツ科学専攻）	博士前期	270,000	450,000	90,000	70,000	880,000

※1 本学の学部（通信教育課程・短期大学を除く）から大学院に進学する場合、入学金（入学申込金）は免除となります。

入学手続後の入学辞退

本学への入学手続を完了した後に、やむを得ない理由により入学辞退を希望する場合、先導的留学生スカラーの支援制度の対象外となるため、入学手続に必要な所定の納付金である入学金を納付する義務が生じます。詳細については、合格後に「入学手続のしおり」でお知らせいたします。

合格者への支援内容

- (1) 納付金の全額免除（本学が支給）
ただし、標準在学年限超過後の納付金は全額自己負担となります。
- (2) 教育補助員（TA）等の就労による収入（就労は義務）
- (3) 奨学金および宿舍の支援
奨学金：月額 120,000 円（本学が支給／住居費を含む）
宿 舎：国際交流宿舍へ優先的に入寮することが可能です。
国際交流宿舍を利用する場合、学生は毎月の奨学金から宿舍費を支払う。
その他：東洋大学大学院学生研究発表奨励金、学外奨学金のみ併願・併給を認めます。
その他の本学の奨学金は申請できません。

入学時の渡日・修了後の帰国、一時帰国のための旅費は大学では負担しない。

入学後、大学からの奨学金支給に1か月～1か月半かかるため、生活資金として最低でも2,000米ドル程度用意すること。

- (4) 文部科学省国費外国人留学生への推薦（対象者のみ）
本入試により受入れた者で、特に優れている者を文部科学省国費外国人留学生へ推薦する場合があります。

先導的留学生スカラーの認定取り消し・支援の中断・失格

1. 認定の取り消し

先導的留学生スカラーが次のいずれかに該当する場合、先導的留学生スカラーの認定を取り消す場合があります。

- (1) 所定の期日までに、正当な理由なく本学の入学手続を完了しないとき。
- (2) 本学の入学資格を失ったとき。
- (3) 先導的留学生スカラー辞退の届出が受理されたとき。
- (4) 出願書類に虚偽の記載等不正の事実が判明したとき。
- (5) 本学の名誉を著しく毀損したとき。
- (6) その他研究科長会議が先導的留学生スカラーとして不適切と認めたとき。

2. 支援の中断

先導的留学生スカラーとして入学後、次のいずれかに該当する場合は、支援を中断します。

- (1) 休学したとき。
- (2) 1学期間以上の海外留学または海外滞在をしたとき。
- (3) 先導的留学生スカラーの認定を更新できなかったとき。

3. 失格

先導的留学生スカラーとして入学後、次のいずれかに該当する場合は、先導的留学生スカラーとしての地位を失います。

- (1) 退学したとき。
- (2) 除籍となったとき。
- (3) 学則による懲戒処分を受けたとき。
- (4) 申請書その他の提出書類に虚偽の記載があったと認められたとき。
- (5) その他先導的留学生スカラーとしてふさわしくないと研究科長会議が認めたとき。

先導的留学生スカラーが、上記により支援を中断されたり、その地位を失ったりした場合には、当該学期の奨学金相当額（入学金を除く）を返還させる場合があります。

また、先導的留学生スカラーとしての地位を失った後も引き続き東洋大学大学院に在籍する場合には、所定の納付金を納入する必要があります。

在留資格の取得について

I. 共通事項

- (1) 本学に入学者先導的留学生スカラーは2027年4月1日時点で「留学」の在留資格を有していることが必要です。他の中長期在留資格および「短期滞在」の在留資格で本学に入学者ことはできません。入学取消しについては下記「II (1)」または「III (2)」の内容を必ず確認してください。
- (2) 本学に入学者許可された先導的留学生スカラーは、「留学」の在留資格を申請することができます。
- (3) 本学への入学者にかかる手続として、各キャンパスで実施する事前手続・オリエンテーション・就学手続は必ず行ってください。なお、学部・研究科・専攻によっては、別途事前手続を行う場合がありますので、その際はその手続も必ず行ってください。
- (4) 在留資格申請にかかる所定の手続、再申請、取消訴訟等により、授業を欠席する等に伴う不利益について、本学は一切の責任を負わないものとしますので、ご注意ください。

II. 有効な在留資格がある場合（日本に居住している方）

※「留学」以外の中長期在留資格および「短期滞在」の在留資格では、大学に在籍することができません。入学前に「留学」の在留資格を取得する必要がありますので、「III. 有効な在留資格がない場合」と同じ手続を行ってください。「留学」の在留資格を有している場合においても、現在の在留資格期限に応じて在留期間更新申請を行ってください。ただし、下記項目に該当する場合は、一度出国し、以下「III. 有効な在留資格がない場合」と同じ手続を求める場合があります。この場合、本学では「留学」の在留期間更新許可申請は行いません。

①本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、前の教育機関の課程修了（卒業）から本学への入学までの期間が3カ月以上あいている場合

②本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、時期に関係なく前の（または現在在籍している）教育機関の課程を修了（卒業）せずに退学をした（またはする予定）場合等、本学が在留期間更新許可申請は不適切と認めた場合

※事情により、「在留資格認定証明書」の交付が2027年4月1日の入学に間に合わない場合もありますが、授業を欠席する等に伴う不利益について、本学は一切の責任を負わないものとしますので、ご注意ください。

- (1) 2027年4月1日時点で、「留学」の在留資格を取得していない場合（「在留期間更新申請中」または「在留資格変更申請中」は除きます。）は、本学への入学許可は2027年3月31日付けで取り消しとなります。

※「在留期間更新申請中」、「在留資格変更申請中」には再申請又は取消訴訟にかかる期間を含みます。

- (2) 2027年4月1日時点で、「在留期間更新申請中」または「在留資格変更申請中」の場合で、2027年5月31日までに在留期間更新許可又は在留資格変更許可が確認できない場合は、本学が定める日付で除籍となりますので早めに手続を行ってください。

※「在留期間更新申請中」、「在留資格変更申請中」には再申請又は取消訴訟にかかる期間を含みます。

- (3) 入学前に「留学」の在留期間の更新をする必要がある場合、もしくは他の中長期在留資格から「留学」に在留資格を変更する必要がある場合、東洋大学が出入国在留管理庁の申請書様式「所属機関等作成用」を発行します。

III. 有効な在留資格がない場合（日本に居住していない方）

本学に入学者するには2027年4月1日時点で、「留学」の在留資格を有していることが必要です。手続に時間がかかる場合でも、2027年4月30日までに、在留資格認定証明書の交付およびビザ（査証）の発給を受けて来日し、本学に在留カードを提出し、所定の手続を完了させる必要があります。

- (1) 在留資格認定証明書の代理申請について

①所定の入学手続が完了した時点で、本学指定の行政書士を通して出入国在留管理庁に対し「在留資格認定証明書交付」の代理申請を行うことができます。出入国在留管理庁による審査の後、「在留資格認定証明書」（COE）が交付されます。その後、PUGS（東洋大学在留資格申請システム）から各自ダウンロードし、ただちに自国または在住国の在外日本公館にてビザ（査証）の発給手続を行ってください。

②代理申請には「在留中の経費支弁能力を証する書類」が必要です。準備には時間を要する場合がありますため、あらかじめ十分な時間的余裕をもって準備をしてください。

③2026年4月時点で、フィリピン・ベトナム・ネパールの国籍を有する方（または当該国から来日予定の方）は、「結核非発病証明書」の提出が必要となります。必ず以下のサイトをご確認ください。

厚生労働省ホームページ（入国前結核スクリーニング）<https://jpets.mhlw.go.jp/jp/>

④過去に日本に滞在し、日本語学校等に在籍したことがある場合、その時の日本語学校等の出席状況も審査の対象となります。出席率および成績取得状況が不良の場合、「在留資格認定証明書」（COE）が不交付になる可能性がありますので、ご注意ください。

⑤在留資格認定証明書については出入国在留管理庁が、ビザ（査証）取得については在住国の在外日本公館がそれぞれ審査を行います。

⑥不交付、不発給となった場合について、大学は一切責任を負いません。なお、在留資格認定証明書不交付に伴う再申請の代理申請は行いません。

⑦日本国内で在留資格「短期滞在」から「留学」に資格変更することは原則できません。必ず自国または在住国の在外日本公館よりビザ（査証）の発給を受けてから来日してください。

- (2) 2027年4月30日までに、在留カードの取得が確認できない場合は、再申請、取消訴訟等にかかる期間を含む一切の理由にかかわらず、本学への入学許可は2027年3月31日付けで取り消しとなります。

(3) 2027年4月30日までに、在留カードを取得しているにもかかわらず、所定の手続を行わなかった場合は、2027年4月30日付けで除籍となります。

手続の方法等の詳細は、合格発表後「入学手続のしおり」でお知らせします。

IV. 在留資格にかかる注意事項

①合格者は、学費及び日本での生活費を十分に支弁できることを証明するため、就学手続の際に、保証人（経費支弁者）又は本人名義の預金残高証明書を提出する必要があります。

＜1年間の生活費（月額 12 万円×12 ヶ月分）＋ 本学学費以上の残高があるもの＞

②入学前に在籍した教育機関における在籍状況（日本語学校の出席率、大学・専門学校の成績等）が著しく不良である場合、在留資格更新に影響する可能性があります。

特に、日本語学校等の出席率が80%未満の場合は、出入国在留管理庁による在留資格更新審査において不許可となる可能性が高いことから、本学でも在留資格更新手続を認めないことがあります。

●在留資格、ビザ（査証）等に関するお問い合わせ先

合格研究科	問い合わせ先	
全研究科	東洋大学在留資格サポートオフィス	toyo-pugs@tugs.co.jp

●在留資格に関する詳細は、Web でも確認できます。

Web : <https://www.toyo.ac.jp/academics/international-exchange/enroll/prearrival/>

外国人留学生のための支援制度

住居探しの際の保証人サポートについて（留学生向け）

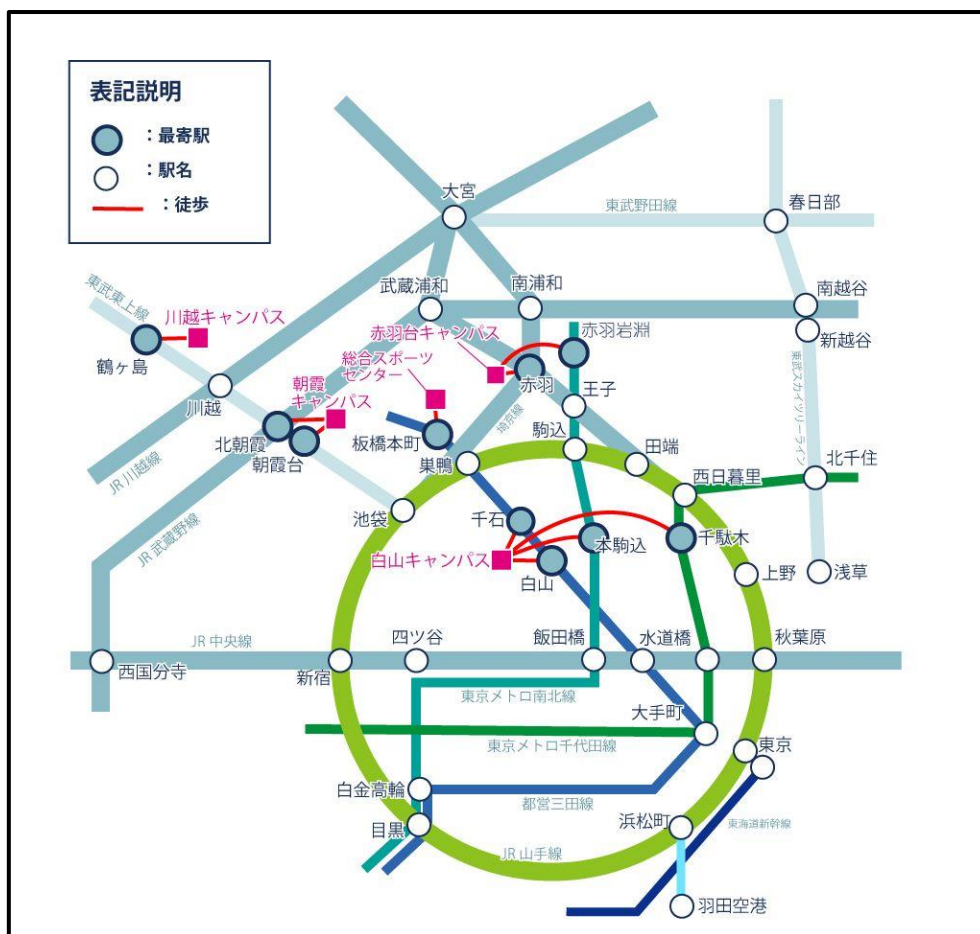
日本で部屋を借りるときには「保証人」が必要となります。保証人は借りる人が賃料を支払わなかった場合に代わりに賃料を払います。日本人学生は家族など身近な方に依頼しますが、それが難しい留学生は保証会社を利用することなどが必要です。

東洋大学は株式会社グローバルトラストネットワークスと覚書を締結しています。東洋大学の留学生はこちらの会社で保証人代行をする際の保証料が20%引きとなりますのでぜひご活用ください。その他、株式会社グローバルトラストネットワークスでは、日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語など、多言語による住居探しのサポートも兼ね揃えており、留学生向けのアパートなどの物件も多く取り揃えています。

■問い合わせ先 株式会社グローバルトラストネットワークス

■Web サイト <https://www.gtn.co.jp/business/rent-warranty/>

アクセスマップ



◆白山キャンパス

- 文学研究科
- 社会学研究科
- 法学研究科
- 経営学研究科
- 経済学研究科
- 国際学研究科
- 国際観光学研究科

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

JR 巣鴨駅から浅草寿町行バスで10分、「東洋大学前」下車
都営地下鉄三田線「白山駅」下車、徒歩5分
都営地下鉄三田線「千石駅」下車、徒歩7分
東京メトロ南北線「本駒込駅」下車、徒歩5分
東京メトロ千代田線「千駄木駅」下車、徒歩15分

◆川越キャンパス

- 理工学研究科
- 総合情報学研究科
- 環境イノベーション学研究科

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100

東武東上線「鶴ヶ島駅」下車、徒歩10分

◆朝霞キャンパス

- 生命科学研究科
- 食環境科学研究科

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡 48-1

東武東上線「朝霞台駅」下車、徒歩10分
JR 武蔵野線「北朝霞駅」下車、徒歩10分

◆赤羽台キャンパス

- 情報連携学研究科 (INIAD HUB-1)
- 社会福祉学研究科 (WELLB HUB-2)
- ライフデザイン学研究科 (WELLB HUB-2)
- 健康スポーツ科学研究科 (HELSP0 HUB-3)

〒115-8650 東京都北区赤羽台 1-7-11

JR「赤羽駅」下車、徒歩8分
東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道「赤羽岩淵駅」下車、徒歩12分
国際興業バス「赤羽台三丁目」下車、徒歩2分

キャンパスマップ



入試に関する問い合わせ

大学院先導的留学生スカラシップ入試問い合わせフォーム
<https://forms.gle/M6kWMaigHKzwmSCw8>

